

## 2018年度第2回日本語教育特別講演会・研修会実施報告

砂川有里子（筑波大学名誉教授、国立国語研究所客員教授）

このたびは、気持ちのいい秋の日に台湾を訪れ、熱意あふれる台湾の方々とお会いできたこと、また、台湾の日本語教育や日本語研究のレベルの高さを再認識する機会をいただいたことを心から感謝いたします。日本語教育や日本語の研究に真摯に取り組まれている台湾の方々に直接お会いして、その情熱を肌身に感じられたことは、日本語の教育と研究に携わる私にとって大きな励みになりました。以下に台北と台中で行われた特別講演会、および高雄で行われた研修会の報告をいたします。

### 1. 特別講演会

#### (1) 実施場所・日時

台北：台湾大学 2018年11月13日（火）10:20～12:20

台中：静宜大学 2018年11月15日（木）15:10～17:20

#### (2) 特別講演会の内容

現在、日本の国立国語研究所では、KOTONOHA計画という日本語データベースの整備計画が進められ、話し言葉や書き言葉、母語話者や非母語話者など、さまざまな日本語コーパスが開発されています。コーパスを使えば、これまで気づかれなかった多くの問題を解明することができるだけでなく、日本語の母語話者でない人にとっては、母語話者の言語直感を確認する手段としても使えます。このように、コーパスは、日本語の教育や研究に大きな威力を発揮する便利な道具ですので、是非とも多くの方に使っていただきたいと考えています。

そこで、この講演では国立国語研究所が開発した母語話者コーパスの「現代日本語書き言葉均衡コーパス（BCCWJ）」と、学習者コーパスの「多言語母語の日本語学習者横断コーパス（I-JAS）」という2つのコーパスをとりあげて、その内容と使い方を紹介しました。さらに、これらのコーパスが日本語の教育や研究にどのように役立てられているのかを示す事例として、BCCWJを使った自動詞と他動詞の対に関する研究、I-JASを使った漢字圏と

非漢字圏学習者の漢字単語の発音の研究など、いくつかの研究を紹介しました。

## 2. 研修会

### (1) 実施場所・日時

高雄 :実践大学高雄校区教学中心 2018年11月17日(土) 13:30~17:00

### (2) 研修会の内容

上に述べたようにコーパスは日本語教育や日本語の研究に役立つ便利な道具です。しかし、中にはコーパスをどのように役立ててよいのか分からないという方やコーパスを使うのは敷居が高いと感じる方もいることと思います。そこで、この研修会では、母語話者コーパス「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」と学習者コーパス「多言語母語の日本語学習者横断コーパス (I-JAS)」の内容とこれらを日本語教育の研究に活用した事例を紹介しました。その後、参加者の方々が各自のパソコンを操作する時間を設け、これらのコーパスの検索システムである「NINJAL-LWP for BCCWJ」と「中納言」の使い方の演習を行いました。